

平成23年度の評価技術（4技術）

資源循環に配慮した技術・製品

繰り返し使える「荷崩れ防止ベルト」

エコビズ株式会社（大阪府中央区本町1-6-18）



本製品は輸送用パレット上に積み上げた段ボール箱等を固定する荷崩れ防止ベルトである。繰り返し使用できるので、現在主に使われているストレッチフィルムに比べて消費する資源の量が少ない。

使用済みベルトのリサイクルルートが確立されているので、使用済みベルトの回収ルートを確保することによってさらに環境負荷の少ない方法で利用することができる。

独自の結束方法により、作業者の負担を軽減しながら確実に積荷を固定できる特徴がある。



光触媒ハンノウコート

長宗産業株式会社（大阪府淀川区三津屋南3-17-27）



本技術は、非晶質水酸化チタンをバインダーに用いることにより、建築物の内外を構成する様々な基材に施工可能な光触媒コーティング技術である。

建物等の外壁や窓ガラス等に塗布することにより、親水性の表面を形成し、付着した汚れが雨水等で洗い流されやすくなることことができる。

建物等の外壁や窓ガラス等の洗浄回数を減らすことができるため、清掃時に使用する水や洗剤の使用量を削減することができる。

蛍光灯などの可視光でも光触媒効果を発現するため、室内の揮発性有機化合物及び臭気濃度の低減、抗菌、抗ウィルス並びに防カビ等の効果も期待できる。



（施工後）



（施工前）

省エネルギー技術・製品

サーモレジン断熱工法による熱損失量の低減方法

中外商工株式会社（大阪府西区靱本町1-9-15）

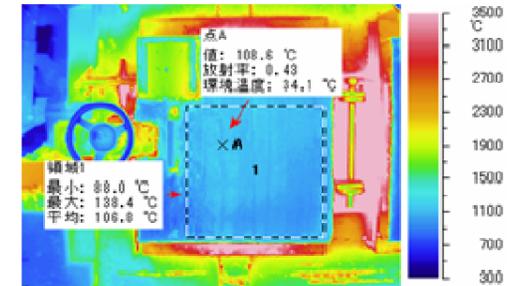


熱利用機器等の表面を被覆することによって熱損失を低減し、省エネルギーを図る技術である。

中空ビーズを配合した下塗りとは無機ファイバ製の断熱シートによって熱伝導を抑制するとともに、上塗りには熱放射を抑える工夫がなされているので、機器の表面から失われる熱を効果的に低減することができる。

塗膜の間にフェルト状の断熱シートを配置する独自の工法は、少ない工数で被覆の厚みを確保できることに加えて、曲面や角のある機器表面にも容易に施工できる特徴がある。

本技術は工場内に置かれた機器表面からの熱損失を低減することから、作業環境の改善にも資するものである。



プラスチック成型用金型の温度調整システム

ナックス株式会社（大阪府西区京町堀3-9-7）



本技術は、プラスチック射出成型金型に冷却水を送るチラーを改造して、より広い温度範囲の冷却水を効率よく供給する金型温度調整機として利用する技術である。

既存チラーの内蔵タンクに仕切りを設けて冷水槽と温度調整槽を独立に制御することにより、精密に温度調節された冷却水を金型に供給することができる。

供給する水の設定温度が25～55℃の範囲において、エネルギー効率及び節電効果が優れていると認められる。

既にチラーを所有している場合、改造費のみで済むので、買い替えに比べて初期投資を低く抑えることができる。



おおさかエコテック について

研究所では、府内の中小・ベンチャー企業によって開発された先進的な環境技術を広く募集し、その技術評価を行った結果をホームページで公表しています。また、評価した技術には、技術評価書とおおさかエコテックのロゴマーク(表紙左側)を、環境保全効果等において特に優れていると認められた技術には、ゴールドエコテック(表紙右側)を交付しています。

参考 URL : <http://www.epcc.pref.osaka.jp/center/etech/etc04/index.html>

技術の募集 は・・・

年2回(7月頃・12月頃)を行っています。

評価する技術・製品の分野 は・・・

①有害化学物質の発生を抑制した技術・製品

原材料等に含まれる有害物質の使用を減らしたのものや、廃棄した後の有害物質の排出を抑制するように設計された技術・製品

②資源循環に配慮した技術・製品

省資源のために長寿命化・軽量化された製品等、又は使用済み段階でリサイクルやリユースなど資源循環が容易となるよう設計された技術・製品

③再生エネルギーを利用した技術・製品

太陽光、風力、水力などの自然エネルギー又はバイオマスを利用した技術・製品

④省エネルギー技術・製品

既に設置された装置・設備のエネルギー効率を向上させることなどを目的に開発された後付け技術・製品

⑤ヒートアイランド現象を緩和する被覆技術・製品

建築物や道路を熱反射・遮熱材料で被覆又は舗装することにより、蓄熱を抑制し、熱負荷を低減することを目的に開発された技術・製品

評価の方法 は・・・

環境改善や環境負荷の低減をはじめ、データの信頼性、経済性などの幅広い観点から、大学研究者等の専門家から構成する委員会の助言等により、審査及び評価*を行っています。

※これまでに(平成15~23年度)76技術を評価しました。

おおさかエコテックに関するお問い合わせは・・・

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
環境情報部 技術支援課
TEL : 06-6972-7661 FAX : 06-6972-7684
e-mail : ecotech@mbox.epcc.pref.osaka.jp

おおさかエコテック

検索



大阪発!

中小・ベンチャー企業が開発した先進的な環境技術

おおさか エコテック

(平成23年度 環境技術評価・普及事業)

ロゴマーク



(エコテック)



(ゴールドエコテック)

地方独立行政法人

大阪府立環境農林水産総合研究所